

コンゴ(共)月報(2014年1月)

主な出来事

【内政】

●ンブル内務・地方分権大臣は、地方選挙を2014年前半に実施する旨述べた。

【外政】

●17日、サス・ンゲソ大統領が訪仏し、ジョトディア大統領辞任後の中央アフリカ情勢について、オランダ大統領と会談した。

【経済】

●経済特区関連法案、3月に国会提出予定。

●25日、アフリカ初となるニュース専門チャンネル Africanews 開設に係る協力議定書が署名された。

【内政】

・6日、サス・ンゲソ大統領は大統領府において、外交団に対して年賀の辞を、続いて8日、国内各団体に対して年賀の辞を述べた。

・14日、ンブル内務・地方分権大臣は、年賀の挨拶の際、2013年に実施できなかった地方選挙を、2014年前半に実施する旨述べた。

・昨年12月16日に国軍と銃撃戦の末逮捕された元国家安全保障副委員長ンツル大佐が、15日、逮捕後初めて予審判事による審問を受けた。

・16日、地方選挙に関し、2013年3月のドリジー評議会に参加した各政党は、ンブル内務・地方分権大臣と会合を行い、選挙人登録のための特別国勢調査の進捗等につき協議した。ブラザビル及びポワント・ノワールを除いては調査が完了しているところ、大臣より完了した地方から選挙人カードの印刷を始めることが提案されたが、出席者からは全体が完了し、技術委員会の承認を受けてから印刷を開始するべきとして、拒否された。

【外政】

・2日、ル・ドリアン仏防衛大臣がブラザビル市を来訪し、サス・ンゲソ大統領を表敬訪問、「中央アフリカのMISCAへの最大の貢献国であり、1,000名の兵士を派遣しているコンゴ(共)と、同国に1,600名の兵士を派遣している仏とで協議を行うことは、極めて有意義である」と述べた。

・13日、イクエベ外務・協力大臣は、年賀の挨拶の際、2014年のプログラムとして、新設公館の設置（在コートジボワール大使館、在ルワンダ総領事館）、在コンゴ(共)大使館の

開設（トルコ、エチオピア）、団塊の世代の退職に備えた省内の人材育成、合同委員会の開催（南ア、ベトナム、ロシア、中国、コンゴ（民）、アルジェリア、ブラジル）等について述べた。

・ 17 日、サス・ンゲソ大統領は訪仏し、オランダ大統領とジョトディア大統領辞任後の中央アフリカ情勢について協議した。

・ 31 日、サス・ンゲソ大統領は、AU 総会に出席。AU は中央アフリカに対する 100 百万ドルの支援を表明した。

【経済】

・ 国税局によると、2013 年の税収 5605 億 CFA に対し、2014 年の税収は 6500 億 CFA となる見込み。国内総生産（石油分野を除く）2 兆 9122 億 CFA に対し、23.5%の直接税が課されている。

・ ブラザビル近郊のマルク産業地区（将来的に経済特区となる予定）において、2014 年には全 15 工場のうち 4 工場において、建築資材（煉瓦、屋根瓦等）の販売が開始される見込み。

・ 7 日、中国系企業 China road and bridge corporation (CRBC) は、ブヤ国土整備・大型事業団担当大臣に対し、鉄鉱等積み出し用のポワント・ノワール新港の建設を改めて表明した。

・ 11 日、森林経済・持続的開発省官房長は、年賀の挨拶の際、許可された木材の海外輸出量を厳格に適用した結果、2013 年を通じて約 60 億 CFA の税金が回収され、これは同省年間予算の 72%に相当すると述べた。

・ 17 日、ロエンバ石油大臣は年賀の挨拶において、2013 年の原油生産量は 242,022 バレル/日であり、2012 年に比較して 10%低下しているが、2014 年には 261,263 バレル/日になると述べた。

・ 20 日から 21 日にかけて、経済特区関係法案作成担当の技術委員会が開催され、政府閣議にかける経済特区法原案の最終作業が行われた。閣議承認の後、3 月の国会において国会に提出される予定。

・ 25 日、Euronews 総裁とコンゴ放送局総裁の間で、多言語のニュース専門チャンネル

Africanews の開設に関する協力議定書が署名された。アフリカで最初となる 24 時間のニュース専門チャンネルとなり、18 カ月後の放送開始を目指している。

・ 30 日、郵便・通信規制庁は携帯電話会社 Airtel 及び MTN に対し、通話状況を 2014 年第一四半期までに改善しなければ、営業許可を停止すると通達した。会社からは、3G に向けた工事が通話の不具合の原因と説明されてきたが、所有者不明の SIM カードが多数存在することも不具合の原因と考えられるため、規制庁は利用者の特定作業を進めるよう要請した。

【社会】

・ 2 日より、マリアン・ングアビ大学（国内唯一の大学）において、給与や家族手当の支払いに関し、教員等によるストライキが継続。

・ 9 日、政府による中ア在住コンゴ（共）人の退避作業により、約 1,000 人がブラザビル市に帰還。16 日より、帰還民一人あたり 100,000CFA を交付。

・ 社会事業・人道活動・連帯省官房長によると、2013 年に、コンゴ（共）に避難している難民のうち 53,112 人が帰還した。大多数はリクアラ地方のコンゴ（民）難民であるものの、数カ月前から新たに中央アフリカ難民が流入したため、帰還作業は停滞している。

・ 24 日より、ガソリンの配給不足により、タクシーの初乗り料金が通常の 1,000CFA から 1,500CFA へ値上がり。

【経済協力】

・ 9 日、中国大使はエボンザ女性向上・情勢開発統合大臣と会談し、各地方に「女性会館 Maison de la femme」を建設する計画について、実施する用意があると述べた。

・ 21 日、仏大使は記者会見を開き、債務削減、インフラ整備、保健、教育・職業訓練、森林の持続的管理等を柱とする仏による経協概要について説明した。2014 年には、ブラザビル市内コルニシュ通り拡張やマケレケレ区・バコンゴ区整備に 262 億 CFA 等、計 500 億 CFA が供与される見通し。

（了）